

1. 日時 平成 28 年 11 月 18 日
2. 場所 彦根市民会館 3 階 第 3 会議室
3. 出席者 (五十音順)

<委員>7 名

金谷 健
可児島 達夫
小林 伊三夫
中村 傳一郎
西元 靖怜子
東 幸子
渡邊 美幸

<事務局>11 名

上下水道部：疋田部長、藤原次長、和田副参事
上水道工務課：村長課長、藤田課長補佐、久保田浄水場長、杉本建設改良係長
上下水道業務課：木田徴収係長、橋本業務係長
上下水道総務課：福田、中川

<彦根市水道事業第 3 期中期経営計画等策定委託業務受注者>2 名
株式会社東京設計事務所

【開会】

事務局

【委嘱状交付】

ただ今から、平成 28 年度・第 1 回目の彦根市水道事業経営検討委員会を開催いたします。

委員の皆様方には、大変お忙しい中をご出席くださりまして、誠にありがとうございます。

私、今年度事務局を務めさせていただきます上下水道総務課の福田でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、お配りしております会議次第に沿いまして会議を進行させていただきます。

審議に先立ちまして、まず初めに、委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。本来ですと市長より交付させていただくべきですが、本日は市長が公務のため上下水道部長より交付させていただきます。五十音順にお名前をお呼びいたしますので、よろしく願いします。

委嘱状交付

事務局

それでは、ここで上下水道部長からごあいさつを申し上げます。

部 長

【部長あいさつ】

事務局

本日は第1回目の会議でございます。水道事業経営等検討委員会委員にご就任いただいております委員の皆様を名簿の順に御紹介させていただきます。

まず、学識経験者として滋賀県立大学の金谷委員、滋賀大学から可児島委員、利用者代表として小林委員、中村委員、西元委員、東委員、渡邊委員。

委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局

次に、事務局の職員を紹介いたします。

自己紹介ということで、順次させていただきます。

(部長、次長、上下水道総務課、上下水道工務課、上下水道業務課 順次自己紹介)

それでは、議題に入らせていただきます前に、本日の会議ですが、彦根市水道事業経営等検討委員会設置要綱第6条第3項の規定により、会議の成立要件といたしまして、委員の過半数の出席が必要となっておりますが、本日は7名中7名の方がご出席でございますので、ここに会議が成立しましたことをご報告いたします。

【委員長の選出】

事務局

それでは、最初に議題(1)委員長の選出につきましてお諮りいたします。

委員長の選出方法は、設置要綱第5条第2項の規定により、委員の互選となっておりますが、初めての委員会ということもあり、ご了解いただけるようでしたら事務局から推薦させていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

委員

意義なし

事務局

それでは、これまで水道事業評価委員会委員長としてご尽力いただいております可児島委員にお願いしたいと思っております。

可児島委員、何かとお忙しいとは存じますが、お引き受けいただけますでしょうか。

委員

可児島委員 承諾

事務局

それでは、今後の議事の進行につきましては、可児島委員長にお願いしたいと思っておりますので、議長席の方へお願いいたします。

委員長

ただいま、皆様のご推挙によりまして、委員長を務めさせていただくことになりました可児島でございます。

これからの水道事業経営等に関する事項について、委員の皆様方とともに十分審議をしてまいりたいと存じますので、委員各位のご協力をよろしくお願ひいたします。

【副委員長の選出】

委員長

それでは議題（２）副委員長の指名でございますが、設置要綱第５条第２項の規定により委員長に事故があるときのために、あらかじめその職務を代理する委員を、委員長が指名することとなっておりますので、私の方から指名させていただきます。

水道事業評価委員会に引き続き金谷委員にお願いいたしたいと思っておりますので、皆様ご了承をお願いいたします。

事務局

委員長から金谷委員への御指名がありましたので、金谷委員、何かとお忙しいとは存じますが、就任のほうよろしくをお願いいたします。

委員

金谷委員 承諾

【諮問】

委員長

続きまして、議題（３）諮問でございます。事務局よろしく申し上げます。

事務局

それでは委員会への諮問を行います。

部長

よろしく申し上げます。

【諮問を朗読】

委員長

ただいま、諮問がありましたが、諮問は彦根市水道事業の基本方針を定める「水道事業ビジョン」および中長期的な経営の基本計画である「第３期中期経営計画（経営戦略）」、両計画の素案に対しての意見であります。

審議の進め方につきましては、本日は初回でありますことから、まずは事務局より今後の策定スケジュール、水道事業ビジョンの概要等の説明を受けたうえで、「水道事業ビジョン」の内容に入りたいと考えています。委員の皆様方からは、幅広くご意見やご質問を伺いながら、進めてまいりたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員

意義なし

【彦根市水道事業ビジョンについて】

委員長

それでは、議題（４）の「彦根市水道事業ビジョンについて」を事務局から説明をお願いします。

事務局

配布資料をもとに説明

資料１ 策定スケジュール

水道事業ビジョンの概要

委員長

ただいまの事務局からの説明に関しまして、ご質問やご意見等がございましたらお願いします。

（質疑）

委員

中期経営計画の素案はいつ提出されるのでしょうか。

事務局

第２回委員会を予定しておりますが、第３回になる可能性もあります。

委員 諮問文を見ると水道ビジョンが事業の方向性を決めるもので経営戦略が経営の基本計画とありますが、繋がりが分からない。同時並行で進められないものなのでしょうか。また、デッドラインは3月末なののでしょうか。

事務局 3月末がデッドラインであり、第2回委員会で中期経営計画素案を提出できるよう、可及的にビジョンと並行して準備を進めてまいります。

委員 できれば今回、中期経営計画を策定する上で予め論じておくべき点を明確にしてもらいたい。

事務局 「安全」「強靱」「持続」が水道ビジョンのテーマですが、「安全」は水安全計画、「強靱」は耐震化計画、「持続」はアセットマネジメントをそれぞれ指し、これらを経営計画の中に盛り込んでいきます。第2回委員会の中では具体的な数字を示したいと考えており、また、中期経営計画は総務省指示によって策定する経営戦略も兼ねております。

委員 「素案はパブリックコメントの後3月末策定」とのことですが、委員にパブリックコメントの結果は教えてもらえるのでしょうか？

事務局 パブリックコメントの内容については委員各位に通知します。そのうえで重大な意見やご指摘等あれば必要に応じ修正を行いたいと考えております。

委員 諮問文に「次期計画である水道事業ビジョン」とありますが、今回の水道事業ビジョンに前身のものがあるのでしょうか。

事務局 水道事業ビジョンにつきましては、今回初めて策定するものであります。また、第2期中期経営計画につきましては策定を行っております。

委員 第2期中期経営計画との比較は行うのでしょうか。

事務局 比較を行います。

委員長 続きまして、「彦根市水道事業ビジョン」の説明をお願いします。

事務局 配布資料（資料2 彦根市水道事業ビジョン素案(案)）を順に説明（第1章から第5章）
基本理念案につきましても、ご意見をお願いします

委員長 ただいまの事務局からの説明に関しまして、ご質問やご意見等がございましたらお願いします。

(質疑)

委員

第3章「彦根市水道事業の現況と課題」とあるが、「課題」には現在ある課題と計画期間の10年をかけて解決すべき長期的な課題の2つがあるので、これらは分けて扱うべきではないでしょうか。実現方策を考えるよりも以前の、施設や管路が将来にわたってどのようなようになっていくかの見込みが必要であると思います。

委員

長期的課題については中期経営計画にてもう少し詳細に扱うのではないのでしょうか。ビジョンと併せて見なければ分からない部分もある。また、挙げられた課題はどれも並列なので、今後優先順位を付けて扱う必要があると思います。

事務局

現段階では第3章は現状の課題の羅列となっておりますが、長期的課題に関することは第4章「将来の事業環境」に盛り込んでいきます。例えば大藪浄水場は、将来に向けて土地を購入しており施設を建て替えながら改修を進める計画があります。中期経営計画にはそこまで盛り込むことはできないと考えております。

委員長

4. 1. 1「給水人口と給水量」のグラフが見つらいので、もう少し差を読み取りやすくしてもらいたい。

委員

概要版p.10の業務指標について、平成27年度の最大稼働率が66.1%・類似平均が69.8%とあるが、類似平均を目標とするのはダウンサイジングを進めていくべき理由として弱いように感じます。例えば厚生労働省の新水道ビジョンに目安とすべき最大稼働率の具体的な数値があれば、それを目標に定めた方が良いのではないのでしょうか。

委員

「ダウンサイジング」とは施設を新設する場合のことを指すのでしょうか。また、既存の施設を「ダウンサイジングする」というと具体的にどうすることをいうのでしょうか。言葉の意味を明記すべきだと思います。

事務局

例えば大藪浄水場は複数ある系統のうちどれか一つを停止することはできないので、将来緩速ろ過池を更新する際、今より容量を減らして更新することをダウンサイジングと表現しています。

委員

そういうことであればワンクッションとしてその旨の説明が欲しい。今のままでは論理が読み手に伝わりづらいと思います。

委員

将来予測の詳細な資料をいただきたい。また、新たに水道事業ビジョンを策定するというのですが、計画期間内に解決しきれない課題については方向性を示してもらいたい。次回以降は委員会の前に資料を予め送付してもらいたい。

事務局

施設や管路には耐用年数があるため実際の更新需要には年ごとに偏りがありますが、それらの費用を平準化して毎年の更新を進めていき、また水道料金は上げないという考えの

もとに取り組んでおります。

委員 ビジョン概要 p. 1 事業計画期間図について、長期計画の方が強調されて見えるので配色を変更した方がよいと思います。

委員 ビジョン概要 p. 18 図の「課題」を中期的課題と長期的課題に分けて示すべき。また、後者と比べ前者をより具体的に書いたり、優先順位を付けたりする等、表現にメリハリをつけた方がよいのではないのでしょうか。

委員 用語解説が付いているが、市民の立場から考えると「給水量」や「有収水量」等、より基本的な単語の解説も必要ではないでしょうか。また、「ダウンサイジング」「アセットマネジメント」等のカタカナ用語もできれば日本語に言い換えてもらいたい。そのほか業務指標のフローチャート等を記載してもらいたい。

事務局 今回の資料には添付していませんが、用語集は載せる予定をしております。

委員 「水道ビジョン」という名称であるものの、内容は上水道のみを扱っている。市民の方にも伝わるよう、下水道は含まれない旨を一言表記すべきではないのでしょうか。或いは、名称に拘らないのであれば「彦根市上水道ビジョン」に変更してはどうでしょうか。

委員 ビジョン概要の業務指標に関する注釈のつけ方が分かりづらいので改善してもらいたい。

委員 ビジョン概要 p. 5 カビ臭から見たおいしい水達成率の実績について、全国平均との乖離が著しいため理由の解説や取るべき対策の記述が欲しい。P. 11 有収率についても同様です。

委員 有収率に関して、管路の更新が難しければ更生も視野に入れて検討すべきではないのでしょうか。

事務局 管路の更生は開削工法よりも工事費用が高く、また水道水への錆や砂の混入が懸念されます。しかし周辺住民に対する騒音等の影響が少なく、交通規制を敷く必要が無いといったメリットもあることから、更新と更生、どちらを選ぶべきかは今後の課題といえます。

委員 ビジョン概要 p. 17 「基本理念」について、基本理念は基本方針との整合性を取るべきと考えます。「安全な水を届ける強靱で持続的な彦根の水道」といった文言に変更してはどうでしょうか。

委員長 ありがとうございました。本日は、予定の時間も来ておりますので、これくらいにして、次回の会議にしたいと思います。事務局から何かございますか。

事務局

本日はお忙しい中、委員の皆様には、長時間にわたり、ご審議を賜りありがとうございます。次回の委員会ですが、12月から1月にお願いしたいと考えております。日程につきましては、本日お配りしました日程調査票に基づき、調整させていただきますのでよろしくをお願いいたします。

委員長

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。

事務局

ありがとうございました。